

平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成30年5月

唐津市（佐賀県）

○計画期間：平成28年4月～平成33年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成28年4月以降、中心市街地活性化基本計画の「Re・Innovation 唐津～まちなか骨格軸の革新と歴史・文化のイノベーションによる、憧れの城下町・唐津～」というコンセプトのもと、「賑わいあふれる魅力ある商業の創出」、「訪れたい魅力ある観光の創出」の2つを活性化の目標に掲げ、43の事業を実施しているところである。

平成29年度においては旧大島邸の開館や唐津城天守閣のリニューアルオープンにより、中心市街地の観光・交流拠点が増え、また、唐津港にクルーズ船の寄港や外国人観光客が増加する等新たな観光の流れが生まれている。

それに伴い、各事業者や各商店街で観光消費を取り込むための取り組みや商店街フリーWi-Fi設置の検討が始まっており、唐津らしい商業活性化に向けた醸成が図られている。またまちづくり会社であるいきいき唐津株式会社が滞在型集客施設を整備する新天町パティオ街区再開発事業について整備計画を策定し、平成30年度の竣工を目指し、事業を進めている状況である。しかし一方で、商店街や各事業者など商業活性化を目指すプレイヤーは多いながら、プレイヤーとのつながりや各取り組みの連携がうまく図られていないことから、住民・観光客への案内・周知やまちなか回遊性の向上など連携の相乗効果があまり現れていない状況である。今後も一層、市民や民間事業者との連携を深めることで中心市街地の賑わいと魅力の増大を図っていく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（中心市街地区域）	平成27年度 （平成28年1月1日時点） （計画期間開始前年度）	平成29年度 （平成30年1月1日時点） （フォローアップ年度）
人口	8,005人	8,029人
人口増減数	5人	24人
社会増減数		
転入者数		

2. 平成29年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

基本計画に掲げた中心市街地活性化への取り組みは順調に進捗しており、まちなかに新しい変化を及ぼしていると捉えている。特に、長年の懸案事項であったパティオ街区再開発事業について事業計画を策定し、整備に向けた見通しがたったことは大きな一歩と言える。また、商業活性化について重点的に協議をするために組織された作

業部会アクションプラン運営委員会において、新たに設定した中央商店街の企業数の増加及び中央商店街全体の小売業及び飲食業の売上増加という計画目標値の成果を測る指標を新たに作成することとした。しかし、依然として中心市街地を取り巻く環境は厳しいものと認識しており、今後とも活性化効果を最大化するために官民連携の中で支援を図りたい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
賑わいあふれる魅力ある商業の創出	空き店舗率	22.77% (H26)	16.69% (H32)	20.48% (H29)	①	①
	来街者満足度	19.43% (H27)	32.53% (H32)	30.42% (H29)	①	①
訪れたい魅力ある観光の創出	中活エリア観光施設入り込み客数	314,130人 (H26)	339,551人 (H32)	295,276人 (H29)	③	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

目標指標のうち、「空き店舗率」については、主要事業である空き店舗チャレンジ誘致事業の効果が現れており、基準値と比べて微減している。また、平成30年度に竣工予定の新天町パティオ街区再開発事業によって、商店街の一角の空き店舗群が解消され、10店舗ほどの出店が見込まれており、施設整備事業の効果も併せて平成32年度の目標達成が可能であると考ええる。

「来街者満足度」については、昨年度と比較して改善されている。主な原因として、呉服町商店街ファサード整備事業の効果により、商店街が歩きやすい景観に変わり、それに関連して、ワゴンマルシェが実施されるなど、商店街事業者と来街者の距離が縮まったことが考えられる。今後新天町パティオ再開発事業により商店街に新しい機能が生まれ、個店レベルでも商店街の魅力を高めるためにフリーWi-Fi設置や各個店の外国人観光客対応化などが予定されており、来街者満足度の目標達成可能と考える。

「中活エリア観光施設入り込み客数」については、基準値より減少している。主な原因として主要観光施設である唐津城天守閣の改修事業のため最も集客が見込まれる4月～7月に閉館していたことがあげられる。しかし、平成29年度で魅力ある観光

の創出に関する主要事業はすべて完了しており、民間においてもゲストハウス機能を持たせた新天町パティオ街区再開発事業をはじめ、フリーWi-Fiの設置や外国人観光客対応の強化等が検討され、観光客を受け入れる体制が整いつつある。以上のことから平成32年度までに目標達成は可能であると考えている。

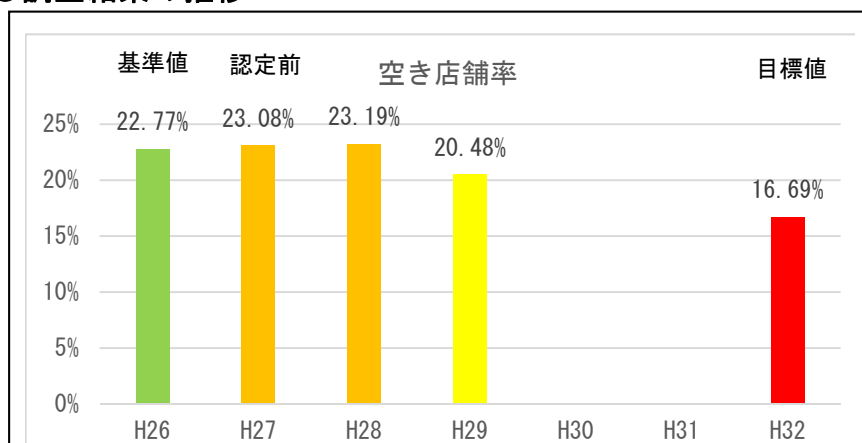
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

魅力ある観光の創出の主要事業である唐津城天守閣改修等事業が耐震工事の追加のため、事業完了が遅れ、平成29年7月に開館した。その他の主要事業も含め平成29年度中に主要事業が完了しているため達成見込みを「①」に変更した。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「空き店舗率」※目標設定の考え方基本計画P65～P67参照

●調査結果の推移



年	(単位：%)
H26	22.77%
	(基準年値)
H28	23.19%
H29	20.48%
H30	
H31	
H32	16.69%
	(目標値)

※調査方法：目視による空き店舗確認

※調査月：平成29年10月

※調査主体：佐賀県

※調査対象：唐津中央商店街（協同組合呉服町商店街、協同組合京町商店街、中町商店街協同組合、刀町振興会）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗チャレンジ誘致事業（唐津市）

事業完了時期	平成23年度～（実施中）
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店の際、店舗改装費及び広告宣伝費の補助と併せて、商工会議所との連携による経営サポート等の支援による店舗誘致事業。
事業効果及び進捗状況	平成29年度は4つの出店者が本事業の支援を受けて空き店舗に出店しており（大名小路1件、坊主町1件、千代田町1件、刀町1件）、空き店舗数の減少につながった。今後も事業を継続することで空き店舗率の減少が期待される。

②. 新天町パティオ街区再開発事業（いきいき唐津株式会社）

事業完了時期	平成30年度（実施中）
事業概要	唐津中央商店街内の新天町パティオ街区に滞在型・交流施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成29年度において、各商店街、商工会議所などを交え新天町パティオ推進委員会で整備事業の検討が行われた。事業の進捗として、現存建物の調査・施設整備計画の策定・地域文化資源活用空間創出事業費補助金の採択等、事業の実現に向けた活動が行われた。今後平成30年度の竣工を目指しているが、施設整備と併せて中心市街地の起爆剤としての効果を周辺に波及させていくための検討を実施主体であるいきいき唐津株式会社を中心に行っていく。

③. 呉服町商店街ファサード整備事業（呉服町商店街組合員）

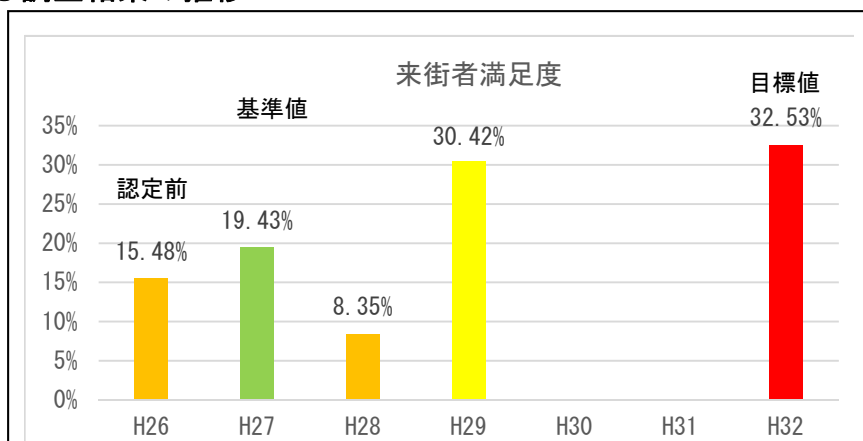
事業完了時期	平成29年度（完了）
事業概要	呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分の改装を行い、その改装費の補助を行う。
事業効果及び進捗状況	平成29年度は5店舗がファサード改装を行った。27・28年度分（24店舗）を合わせると対象の48店舗中29店舗が工事を終え呉服町商店街は統一した修景になりつつある。呉服町商店街の空き店舗率は平成28年度の49%と比較して10%減少しており、商店街の通りのイメージが向上することにより新規出店を促している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

中活基本計画において毎年3店舗の空き店舗解消を見込んでいる。今年度は空き店舗チャレンジ誘致事業により4つの新規事業者が空き店舗に出店しており計画の見込みを上回った。また、平成30年度着工予定の新天町パティオ街区再開発事業により商店街の一角の空き店舗群の解消とその波及効果による新規出店が見込まれている。今後も中心市街地の新規出店を支援していくとともに、退店のために再び空き店舗が増加しないよう、創業者や既存の事業者が持続的に経営できる環境を作るため、創業・経営相談窓口の設置や商工会議所等の専門機関と連携を図りながら、やる気のある起業家や繁盛店作りを支援していく。

「来街者満足度」 ※目標設定の考え方基本計画 P70～P79 参照

●調査結果の推移



年	(単位：%)
H27	19.43%
	(基準年値)
H28	8.35%
H29	30.42%
H30	
H31	
H32	32.53%
	(目標値)

※調査方法：来街者に対する聞き取り調査

※調査月：平成29年6月2日（金）、6月4日（日）

※調査主体：唐津市

※調査対象：中心市街地商店街への来街者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗チャレンジ誘致事業（唐津市）

事業完了時期	平成23年度～（実施中）
事業概要	【再掲】中心市街地の空き店舗に出店の際、店舗改装費及び広告宣伝費の補助と併せて、商工会議所との連携による経営サポート等の支援による店舗誘致事業。
事業効果及び進捗状況	平成29年度は4つの出店者が本事業の支援を受けて空き店舗に出店しており（大名小路1件、坊主町1件、千代田町1件、刀町1件）、空き店舗数の減少につながった。また、出店後も商工会議所の経営相談等のサポートが行われている。今後も事業を継続することで空き店舗率の減少が期待される。

②. 新天町パティオ街区再開発事業（いきいき唐津株式会社）

事業完了時期	平成30年度（実施中）
事業概要	【再掲】唐津中央商店街内の新天町パティオ街区に滞在型・交流施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成29年度において、各商店街、商工会議所などを交え新天町パティオ推進委員会で整備事業の検討が行われた。事業の進捗として、現存建物の調査・施設整備計画の策定・地域文化資源活用空間創出事業費補助金の採択等、事業の実現に向けた活動が行われた。今後平成30年度の竣工を目指しているが、施設整備と併せて中心市街地の起爆剤としての効果を周辺に波及させていくための検討を実施主体であるいきいき唐津株式会社を中心に行っていく。

③. 呉服町商店街ファサード整備事業（呉服町商店街組合員）

事業完了時期	平成29年度（完了）
事業概要	【再掲】呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分の改装を行い、その改装費の補助を行う。
事業効果及び進捗状況	平成29年度は5店舗がファサード改装を行った。27・28年度分（24店舗）を合わせると対象の48店舗中29店舗が工事を終え呉服町商店街は統一した修景になりつつある。商店街通りで休憩や滞在する来街者が見られ、夜間においても安心安全に通行できる通りとして利用されており、満足度向上に寄与している。

④. 低床バス導入事業（昭和自動車株式会社）

事業完了時期	平成27年度～（実施中）
事業概要	車両に乗りにくいという意見が多いことを受け、交通弱者が気軽にバスを使って中心市街地へ足を運べるよう低床バスを導入するもの。
事業効果及び進捗状況	（H28実績）小型1台、中型3台導入 （H29実績）中型5台導入

⑤. バスの乗り方教室の実施（昭和自動車株式会社）

事業完了時期	平成27年度～（実施中）
事業概要	バスの乗り方がわからないという若年層・高齢者にバスを身近に感じてもらうためバスの乗り方・マナー啓発を行うことによりバス利用者を増やす。
事業効果及び進捗状況	平成29年度はバスの乗り方教室の要望がなかったため、実施できなかった。来年度以降昭和自動車株式会社と地域と連携をとりながら事業を実施していく。

⑤. 子育て支援拠点事業（唐津市）

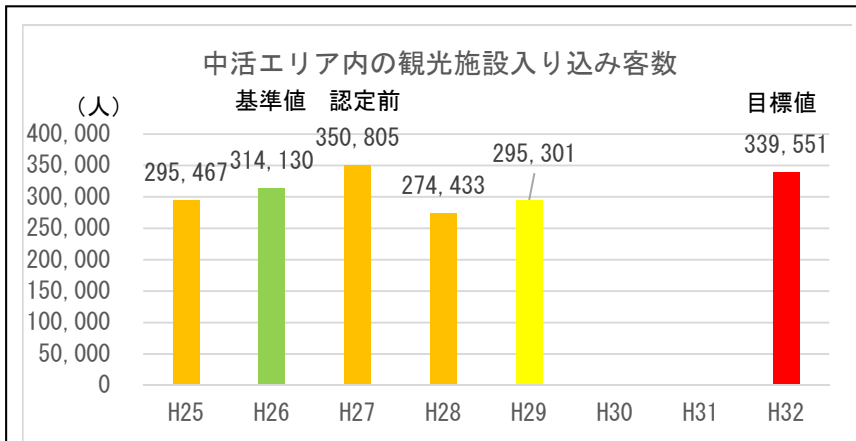
事業完了時期	平成28年度（済）
事業概要	地域の身近なところで気軽に親子の交流や子育て相談が受けられる場所を作り、子育てしやすい環境の充実を図る。
事業効果及び進捗状況	平成29年度4月から「唐津市子育て情報センター」を開設し、子育て家庭のニーズに合わせて、必要な支援を選択し利用できるように情報の提供や相談・支援を行っている。平成29年度は大手口子育て情報センターでは769件の利用があった。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年度の来街者満足度調査において、昨年度と比較して改善されている。主な原因として、呉服町商店街ファサード整備事業の効果により、商店街が歩きやすい景観に変わり、それに関連して、ワゴンマルシェが実施されるなど、個店と来街者の距離が縮まったことが考えられる。今後新天町パティオ再開発事業により商店街に新しい機能が生まれ、個店レベルでも商店街の魅力を高めるためにフリーWi-Fi設置や各個店の外国人観光客対応化などが予定されており、中心市街地活性化協議会等で情報共有・連携を図りながら、商業活性化に関する具体的な取組み内容と役割を明確化した「唐津市中心市街地商業活性化アクションプラン」に基づき来街者満足度の向上を図りたい。

「中活エリア内の観光施設入り込み客数」※目標設定の考え方基本計画P79～P85参照

●調査結果の推移



年	(単位:人)
H26	314,130人 (基準年値)
H28	274,433人
H29	295,301人
H30	
H31	
H32	339,551人 (目標値)

※調査方法：中心市街地内に立地する観光施設7施設の入場者数の合計

※調査月：平成29年4月1日～平成30年3月31日

※調査主体：唐津市

※調査対象：観光施設入場者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 呉服町商店街ファサード整備事業（呉服町商店街組合員）

事業完了時期	平成29年度（完了）
事業概要	【再掲】呉服町商店街が策定した景観まちづくりのガイドラインに基づき各店舗が店舗前面部分の改装を行い、その改装費の補助を行う。
事業効果及び進捗状況	平成29年度は5店舗がファサード改装を行った。27・28年度分（24店舗）を合わせると対象の48店舗中29店舗が工事を終え呉服町商店街は統一した修景になりつつある。しかし、呉服町商店街通りの通行量は平成29年度において減少に転じており、商店街の魅力・回遊性向上のための対策が必要になっている。

②. 城内地区・曳山通り景観まちづくり事業（唐津市）

事業完了時期	平成28年度（済）
事業概要	城内地区・曳山通りならではの佇まいを守り、つくり、育て、賑わいの創出につなぐため、景観まちづくり条例の改正による景観規制や修景費用の助成制度を制定するもの。
事業効果及び進捗状況	平成29年3月唐津市景観まちづくり条例の改正。同10月運用開始。平成29年8月唐津市景観まちづくり推進事業補助金交付要綱の制定し助成事業がスタートした。（単年度要綱） 【平成29年度実績】 景観法に基づく届出等13件、助成支援4軒（2,593,000円）

③. 旧大島邸復原整備事業（唐津市）

事業完了時期	平成28年度（完了）
事業概要	城内地区に残っていた旧大島邸を文化交流の結節点とすることを目的に、主屋、茶庭、茶室などを復原し、見学施設や貸館による活用を図り、中心市街地における市民や観光客の交流拠点を整備した。
事業効果及び進捗状況	平成29年4月23日に開館し、平成30年3月31日までに15,825人の入場と55件の貸館による利用があった。貸館の利用としては、茶会や講演会、展示会のほか、食事会や集会などの利用を得た。

④. 南城内駐車場整備事業（唐津市）

事業完了時期	平成28年度（済）
事業概要	旧大島邸と一体的に整備を行い、旧大島邸利用者のみならず、城内観光の拠点とするべく整備を行った。
事業効果及び進捗状況	旧大島邸と同じく、平成29年4月23日にオープンし、平成30年3月31日までにのべ約2万8千台の利用があり、利便性の向上による城内来訪者の増加に繋がったものと思われる。

⑤. 唐津城天守閣改修等事業（唐津市）

事業完了時期	平成29年度（完了）
事業概要	中心市街地のランドマークとなっている唐津城天守閣の維持及び観光客の入館の増加を図るために、天守閣の耐震補強及び空調設備の新設や資料の保存、活用を図るための展示ケース等の改修を実施する。
事業効果及び進捗状況	平成28年10月から改修工事を開始したが、耐震工事を追加したことにより当初計画より遅れ、平成29年7月にリニュー

	アルオープン。唐津市の主要観光施設である唐津城天守閣をリニューアルにより平成30年3月末までに10万5,115人の観光客が来館した。
--	--

●目標達成の見通し及び今後の対策

唐津城天守閣改修事業と旧大島邸復原事業が完了し、来街者が利用できる観光施設が増えたため、目標を達成できる見込みである。

唐津くんちの世界無形文化遺産の登録、「ユ-uri!!!onICE」とのコラボしたイベントの開催等により、唐津市への来街者は増加している。また、港湾整備完了に伴うクルーズ船寄港の増加をチャンスと捉え、インバウンド消費獲得に向け、大小さまざまな仕掛けを模索していきたい。いずれも一過性のものにならないよう、街なかの回遊性の向上、市街地の景観と魅力の向上を図り、さらなる来街者の増加につなげていく必要がある。